

J A 栗東市の

自己改革

農家組合員の農業所得の増大と農業生産の拡大



農業経営管理支援事業の説明会実施

平成30年4月から、農業経営管理支援事業をスタートさせます。

農家組合員の皆様の悩みの一つとなっている「会計記帳」をJAグループが代行することに加え、その情報をもとにした経営管理のサポートを行い皆様の所得向上を目指します。

当日は、認定農業者や農事組合法人などの担い手となる農業者の皆様に事業内容を説明致しました。



平成30年産大豆および平成31年産小麦の生産数量の提案説明会開催

3月1日(木)総合センター桃李館において、平成30年産大豆および平成31年産小麦の生産数量の提案説明会を開催しました。当日は、栗東市再生協議会・全農しが・JA栗東市よりそれぞれ平成30年産経営所得安定対策、滋賀県産大豆・小麦の使用用途・評価、小麦の栽培における管理・生産収量の提案について説明を行いました。

参加者からは、特に生育が遅れぎみの小麦管理等について熱心な意見交換がされました。

J A 栗東市の

自己改革

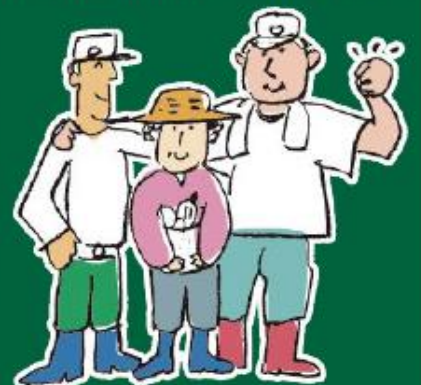
農家組合員の農業所得の増大と農業生産の拡大



夏野菜定植前の土壌診断を実施

農業生産の拡大、また地域農業に貢献できるように4月28日(土)に簡易無料土壌診断を資材センターにおいて実施しました。

10名の方がご来場され、夏野菜定植前の土壌を診断しました。診断された方は概ね弱アルカリ性の土壌が多かったため、中性に戻す弱酸性の硫酸加里を夏野菜における土づくりにオススメしました。



J A栗東市の

自己改革

農家組合員の農業所得の増大と農業生産の拡大

品揃えの充実

～地域農業に貢献できる店づくり～

資材センターにおいては、ご利用いただきやすい身近な店舗として、地域農業に貢献できるよう、品揃えの充実を図りました。夏野菜のシーズン到来にあわせて、トマト・キュウリ・ナス・トウガラシ・ピーマンなどを中心に 100 品種以上の苗を取り揃えました。また、肥料・農薬についても小袋肥料や希釈せずにそのまま使えるスプレー式農薬など、家庭菜園の方にも安心して気軽にお使いいただける商品を取り揃えております。

丹精こめて作られる野菜が立派に育ち、楽

しみな収穫時期を迎えていただけるようアドバイス等も行い、地域農業に貢献できる店づくりを目指します。



J A栗東市の

自己改革

総合事業による地域の活性化とくらしの支援

6月28日、女性部「笑味ちゃんクラブ」視察研修旅行として、J A兵庫南管内にある直売所「にじいろふぁ～みん」を訪問しました。今回の研修では、惣菜、お弁当等の加工品、J A兵庫南女性会の販売コーナーの手芸品を中心に視察しました。また、施設に併設されている「にじいろレストラン」にて、旬の新鮮野菜を堪能し、女性部員の親睦を深めました。今後も様々な催しや研修を通して、J Aが地域の女性にとって仲間作り

の場となるように情報発信に努め、女性が活躍できる場づくりに取り組んでいきます。



J A 栗東市の

自己改革

田舎の元気や 出荷者研修会開催

7月17日(火)「J A 栗東市田舎の元気や出荷者研修会」を総合センター桃李館で開催し、31名の出荷者が参加しました。研修では、夏野菜栽培後半の管理方法や秋冬野菜の栽培準備・栽培方法などを県農産普及課職員より説明頂きました。また、当販売所で市場仕入が多い作物や来店客から要望のある作物を当J A 職員が説明し、出荷者に栽培を呼びかけ、出荷してもらうよう提案しました。

出荷者は当研修を熱心に受講され、栽培方法や栽培提案作物について積極的な質疑が出されました。

当研修会を通して、地元農産物の生産量・品質が向上し、農家所得の向上に繋がるよう今後も定期的な出荷者研修会の開催を予定しています。



J A 栗東市の

自己改革

総合事業による地域の活性化とくらしの支援

わんぱくスクール 日帰り旅行開催



8月8日(水)、わんぱくスクール日帰り旅行を開催し、市内の小学生26人が参加しました。

日帰り旅行では、「市内農園めぐり」と題し、東坂の竹村明さんと上砥山の谷口健與さんの2カ所の圃場を見学しました。

竹村さんの圃場では、1年を通して栽培している農作物などの説明やミニキュウリ「ラリーノ」の栽培見学を行い、特徴や栽培方法について学習しました。その後、農作業体験として、夏野菜の収穫を終えたビニールハウス内の清掃を手伝い、農作業の大変さを体験しました。清掃終了後、竹村さんのご厚意で採れたて新鮮野菜を堪能した子ども達は、「ビニールハウス内は、暑くて掃除が

大変だった」「採れたての野菜は甘くておいしかった」などと話していました。

谷口さんの圃場では、イチジク栽培を見学し、イチジクの成長過程や特徴について学習しました。見学終了後には、谷口さんのご厚意でマクワを堪能した子ども達から「なぜ、ハウスで栽培しているのですか」「いちじくの天敵は何ですか」などと質問が飛び交いました。

今後もわんぱくスクールの活動を通して、食の大切さや食を支える農の役割などの理解を深める活動に取り組んでいきます。そして、農業体験、地産地消を通じて、「食と農」、「地域とJ A」の理解を広げていきます。



J A栗東市の

自己改革

総合事業による地域の活性化とくらしの支援

J A共済アンパンマン交通安全キャラバン開催 ～アンパンマンと交通ルールを学ぶ～

9月15日(土)、栗東芸術文化会館さきらにて「J A共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開催し、午前・午後と、抽選で選ばれた管内の約650人の親子が参加しました。参加者は、アンパンマンとその仲間たちと一緒に歌や踊りで楽しみながら交通ルールを学びました。

このイベントは、次世代を担う子供たちを交通事故から守ろうと、組合員・地域住民に対する地域貢献活動の一環として行っており、当J Aは今後も交通安全の大切さを伝える活動に取り

組んでいきます。



J A栗東市の

自己改革

総合事業による地域の活性化とくらしの支援

J A共済 親と子の交通安全ミュージカル 「魔法園児 マモルワタル」開催

～楽しい思い出づくりを通じて子どもたちを交通事故から守る～

J A栗東市とJ A共済連滋賀は、10月19日(金)栗東芸術文化会館さきらにて「親と子の交通安全ミュージカル」を開催しました。このミュージカルは、平成18年度から次世代を担う子どもたちの育成と、地域住民の安全な生活環境づくりに貢献するために、各地域で開催をしており、管内からは、660人余りの園児と保護者が物語や歌を通じて交通標識の意味や横断歩道の渡り方を学びました。

佐野組合長は、「ミュージカルを通して、子どもたち、保護者や先生の方々にも、あらためて交通安全のルールの大切さを園児に説明いただくことで、

少しでも交通事故の未然防止につながればと考え、今後もJ Aでは地域の皆さまが、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに取り組んでいきます。」と話した。

